

第57回 RIDCマンスリー研究セミナー

年輪考古学

— 研究史と近年の展開 —

スピーカー

岡山大学文明動態学研究所 助教

前田 仁暉

日時

2026年6月17日(水)

12:00～13:00

場所

オンライン開催

岡山大学構内 鹿田遺跡出土曲物の年輪スキャン調査と年輪計測画像
赤い「+」は年輪幅の計測ポイント

本発表では、考古学と年輪年代学の融合分野である年輪考古学について、その基礎や研究史、近年の研究の一端を概説する。20世紀初頭、米国南西部で成立した年輪年代学とそれに基づく年輪年代測定は、遺跡の年代推定をはじめとして広く応用が進められ、そのアイデアと方法論は世界各地へと波及した。現在では、年輪年代学と考古学は密接に結びつき、年輪考古学(dendroarchaeology)という学術分野を形成している。本発表では、年輪考古学の基礎と研究史をふまえつつ、発表者が日本において進めてきた小型木質遺物を対象とした研究も交えながら近年の研究事例の一端を紹介し、展望を示したい。

お申し込み先

<https://forms.gle/5Loqt88rtXLvGWwBA>

お申し込み締め切り

6月16日 12:00

お問い合わせ先

文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。